

指 示

令和 7 年 8 月 2 8 日
給付指 2025-95

業務処理要領（要領第 1 9 7 号）の一部改正等

情報提供先	相談センター <input checked="" type="checkbox"/>	社労士会 <input checked="" type="checkbox"/>	健保協会 <input type="checkbox"/>	機構健保 <input type="checkbox"/>
-------	--	--	-------------------------------	-------------------------------

目的・趣旨	これまで発出した指示、拠点等からの意見・提案に基づき、業務処理要領（要領第 1 9 7 号）年金給付業務編等を一部改正しますので、その内容をお知らせします。
指示の内容	<p>1 業務処理要領の改正（別添 1）</p> <p>（1）指示に基づいた改正</p> <p>これまで発出した以下の指示に基づき、業務処理要領の改正を行います。</p> <p>① 令和 7 年 8 月 1 日【給付指 2025-86】「死亡者が厚生年金の被保険者期間と共済組合等の加入期間を有する場合における遺族厚生年金の短期・長期要件の有利判定の一部見直し（差替）」</p> <p>② 令和 7 年 8 月 7 日【事企指 2025-35】※「遺族厚生年金受給権者の老齢年金の繰下げ許容に係る施行前の事務の取扱い（令和 7 年年金制度改正事項）」</p> <p>（2）拠点等からの意見・提案を踏まえた改正</p> <p>拠点等からの意見・提案を踏まえ、記載内容を明確にします。</p> <p>（3）改正対象となる業務処理要領</p> <p>改正対象となる業務処理要領は、別添 2－1、別添 2－2 及び別添 3 を参照してください。</p> <p>2 制度説明（資料）の改正（別添 4）</p> <p>【給付指 2025-86】に基づき、制度説明（資料）の記載内容を整備します。</p> <p>3 改正・施行日</p> <p>令和 7 年 8 月 29 日</p>
（注意点）	施行日以降は、改正後の業務処理要領に基づき処理を行ってください。
別添資料	<p>【別添 1】業務処理要領（要領第 1 9 7 号）の一部改正（概要）</p> <p>【別添 2－1】これまで発出した指示に基づき改正する業務処理要領一覧</p> <p>【別添 2－2】拠点等からの意見等を踏まえて改正する業務処理要領一覧</p>

	【別添 3】業務処理要領（改正） 【別添 4】制度説明（資料）（新旧対照表）
--	---

「要報告」の場合	
報告期限	—
報告先	—

テレビ解説対象	<input type="checkbox"/>
---------	--------------------------

業務処理要領（要領第 197 号）の一部改正（概要）

1 指示に基づいた業務処理要領の改正（別添 2－1）

(1) 令和 7 年 8 月 1 日【給付指 2025-86】「死亡者が厚生年金の被保険者期間と共済組合等の加入期間を有する場合における遺族厚生年金の短期・長期要件の有利判定の一部見直し（差替）」

死亡者が厚生年金の被保険者期間と共済組合等の加入期間を有する場合における遺族厚生年金の短期・長期要件の有利判定の取扱いの一部について、見直しを行ったことから記載内容を整備します。

(2) 令和 7 年 8 月 7 日【事企指 2025-35】※「遺族厚生年金受給権者の老齢年金の繰下げ許容に係る施行前の事務の取扱い（令和 7 年年金制度改正事項）」

「遺族厚生年金受給権者の老齢年金の繰下げの許容」（令和 10 年 4 月 1 日施行）に係る通知が厚生労働省から発出されたことに伴い、遺族厚生年金の受付事務の取扱いについて見直しを行ったことから、記載内容を整備します。

2 拠点等からの意見・提案を踏まえた業務処理要領の改正（別添 2－2）

拠点等から寄せられた意見・提案を踏まえ、業務処理要領の記載内容を整理し、以下のとおり改正します。

(1) 制度共通業務編

誤解が生じやすい表現や指示文書等との表記の差異があるものについて、表現の修正や注意事項の追加等の軽微な修正を行います。

(2) 年金給付業務編

① 拠点からの要望により「老齢年金の繰上げ請求についてのご確認」について、繰上げ請求を行った場合の配偶者加給年金額の停止等に係る注意事項を追加したことから、業務処理要領に掲載されている様式を差し替えます。

また、グループウェアの業務系様式に掲載している様式についても併せて差し替えます。

お客様から旧様式で提出があった場合は、返戻せず受付を行ってください。

② 誤解が生じやすい表現や指示文書等との表記の差異があるものについて、表現の修正や注意事項の追加等の軽微な修正を行います。

(3) 障害年金審査業務編

誤解が生じやすい表現や指示文書等との表記の差異があるものについて、表現の修正や注意事項の追加等の軽微な修正を行います。

(4) 中央年金センター業務編

誤解が生じやすい表現や指示文書等との表記の差異があるものについて、表現の修正や注意事項の追加等の軽微な修正を行います。

これまで発出した指示に基づき改正する業務処理要領一覧

制度	区分	届書名	改正箇所	該当指示文書
年金給付業務編	老齢・障害・遺族・寡婦	裁定事務（応用事例）	1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認	【給付指2025-86】
		年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）	3.1 窓口受付	【給付指2025-86】
	年金一元化	共済組合等の加入期間を有する者から提出があった届書等に関する事務	3.5 遺族厚生年金の長短要件判定結果の表示	【給付指2025-86】
	年金相談	年金相談	5.2 遺族厚生年金の請求	【給付指2025-86】 【事企指2025-35】※
中央年金センター業務編	共通業務	再裁定等業務の概要	4.1 新法年金の受給要件等	【給付指2025-86】
		リスト補正業務 共通	7.2 選択（併給調整）処理	【給付指2025-86】
	審査検証業務	審査検証業務	6.2 遺族年金請求書に係る審査	【給付指2025-86】

拠点等からの意見等を踏まえて改正する業務処理要領一覧

制度	区分	届書名	改正箇所	該当指示文書
制度共通業務編	決裁	届書等の決裁方法	3.7 別添7 決裁者一覧(国民年金 厚生年金保険 年金給付)	・軽微な修正
年金給付業務編	老齢・障害・遺族・寡婦	裁定事務(共通確認・審査)	2.7 年金の受給状況の確認 2.20 繰上げ請求	・軽微な修正 ・画像の差替
		年金請求書(国民年金・厚生年金保険老齢給付)【老齢厚生】	3.1 請求書の内容点検 3.3 請求書の審査 4.3 入力前確認	・軽微な修正 ・画像の差替
		年金請求書(国民年金・厚生年金保険)【老齢基礎】	3.3 審査 4.3 入力前確認	・軽微な修正 ・画像の差替
		年金請求書(国民年金・厚生年金保険遺族給付)	3.3 内容審査	・軽微な修正
		年金請求書(国民年金遺族基礎年金)	3.3 内容審査	・軽微な修正
	本部回付(扶養・その他)	老齢厚生・退職共済年金受給権者支給停止事由該当届	3.1 調整の仕組み・届書の点検項目	・軽微な修正
	年金生活者支援給付金業務	共通	1.2 対象者・支給要件	・軽微な修正
		継続認定及び所得状況届の事務処理	2.1 継続認定の事務処理	・軽微な修正
障害年金審査業務編	障害年金審査業務マニュアル	障害年金審査業務マニュアル	2.5 認定後審査・入力 3.5 認定後審査・入力	・リンク先の追加
中央年金センター業務編	共通業務	ガイダンス	3.4 各種ツール等の利用	・軽微な修正
	諸変更業務	請求書・該当届・変更届	3.9 返戻等 5.1 概要 28.9 返戻等	・軽微な修正
	リスト補正業務	リスト補正業務【0901】～【0950】	19.1 概要	・軽微な修正

要領第 197 号
理事長決定
令和 7 年 8 月 29 日改正・施行

業務処理要領（改正）

業務処理要領（要領第 197 号）の一部を次のように改正し、令和 7 年 8 月 29 日から施行する。

改正後	現 行
別紙 1 「制度共通業務編新旧対照表」参照 別紙 2 「年金給付業務編新旧対照表」参照 別紙 3 「障害年金審査業務編新旧対照表」参照 別紙 4 「中央年金センター業務編新旧対照表」参照	

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

【制度共通業務編新旧対照表】




制度共通業務編 > 決裁 > 届書等の決裁方法 > 別添 > 別添7 決裁者一覧(国民年金 厚生年金保険 年金給付)

新バージョン	旧バージョン
3.7 別添7 決裁者一覧(国民年金 厚生年金保険 年金給付)	3.7 別添7 決裁者一覧(国民年金 厚生年金保険 年金給付)
【令和6年06月28日-給付指2024-73】	【令和6年06月28日-給付指2024-73】
～略～	～略～
(注)1 審査医師又は医療機関への照会に関することの執行名義人は、障害年金センター長、事務センター長又は所長とする。	(注)1 審査医師又は医療機関への照会に関することの執行名義人は、障害年金センター長、事務センター長又は所長とする。
(注)2 年金・一時金・手当金の裁定請求について、不支給に関する処理は、中央年金センター長、障害年金センター長、事務センター長又は所長を決裁権者とする。	(注)2 年金・一時金・手当金の裁定請求について、不支給に関する処理は、中央年金センター長、障害年金センター長、事務センター長又は所長を決裁権者とする。
(注)3 年金事務所(市区町村・金融機関)で受付したもののうち、次のいずれかに該当する場合に限り、年金事務所での処理を可能とする(3.11を参照)。 ①即時交付を求められる処理を行う場合 ②諸変更締切日前で、事務センターへ回付すると年金の支給に影響を及ぼす場合 ・受取機関変更届については、諸変更締切日前で、事務センターに回付すると年金の支給に影響を及ぼす場合は、年金事務所での処理を可能とする。	(注)3 年金事務所(市区町村・金融機関)で受付したもののうち、次のいずれかに該当する場合に限り、年金事務所での処理を可能とする(3.11を参照)。 ①即時交付を求められる処理を行う場合 ②諸変更締切日前で、事務センターへ回付すると年金の支給に影響を及ぼす場合 ・受取機関変更届については、諸変更締切日前で、年金事務所へ回付すると年金の支給に影響を及ぼす場合は、事務センターでの処理を可能とする。
(注)4 上席副所長が配置されている場合は、3.2.1(14)①別表1-1の届書等に関してのみ、上席副所長を決裁者とする。	(注)4 上席副所長が配置されている場合は、3.2.1(14)①別表1-1の届書等に関してのみ、上席副所長を決裁者とする。
(注)5 決裁権限の委譲対象となる。本編2.4を参照。	(注)5 決裁権限の委譲対象となる。本編2.4を参照。
(注)6 マイナポータル経由の電子申請で提出された届書に関する処理は、中央年金センターグループ長を決裁権者とする。	(注)6 マイナポータル経由の電子申請で提出された届書に関する処理は、中央年金センターグループ長を決裁権者とする。

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

【年金給付業務編新旧対照表】

年金給付業務編 > 老齢・障害・遺族・寡婦 > 裁定事務(共通確認・審査) > 年金事務所 > 年金の受給状況の確認

新バージョン	旧バージョン
2.7 年金の受給状況の確認	2.7 年金の受給状況の確認
【令和 7 年 08 月 01 日-給付指 2025-83】	【令和 7 年 08 月 01 日-給付指 2025-83】
2.7.1 年金の受給状況の確認	2.7.1 年金の受給状況の確認
(1) 受給状況の確認	(1) 受給状況の確認
<div>Check</div> <div><div><input type="checkbox"/> 窓口装置（WM）（制度「基礎年番」届書コード「020」）で、現在の年金の受給状況（制度名、種類、受給開始年月、年金コード）を確認する。</div><div><input type="checkbox"/> 特別障害給付金の受給者には、老齢基礎年金や老齢厚生年金等が支給されると特別障害給付金の支給が調整されることを説明する。</div><div><input type="checkbox"/> 請求中の年金がある場合、公的年金制度名、年金の種類が記入されているか確認する。</div></div>	<div>Check</div> <div><div><input type="checkbox"/> 窓口装置（WM）（制度「基礎年番」届書コード「020」）で、現在の年金の受給状況（制度名、種類、受給開始年月、年金コード）を確認する。</div><div><input type="checkbox"/> 特別障害給付金の受給者には、老齢基礎年金や老齢厚生年金等が支給されると特別障害給付金の支給が調整されることを説明する。</div><div><input type="checkbox"/> 請求中の年金がある場合、公的年金制度名、年金の種類が記入されているか確認する。</div></div>
注意	注意
<div>・ 請求者が他年金を受給している場合、請求する年金の受給権発生日以降で選択関係にあるか確認する。選択関係にある場合は、本編 2.22 年金受給選択申出書を参照すること。</div>	<div>・ 請求者が他年金を受給している場合、請求する年金の受給権発生日時点で選択関係にあるか確認する。選択関係にある場合は、本編 2.22 年金受給選択申出書を参照すること。</div>
<div><div> [法令]特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律第 16 条</div><div> [法令]特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律施行令第 7 条</div></div>	<div><div> [法令]特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律第 16 条</div><div> [法令]特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律施行令第 7 条</div></div>

新バージョン	旧バージョン
<h2>2.20 繰上げ請求</h2>	<h2>2.20 繰上げ請求</h2>
<p style="text-align: right;">【令和 4 年 08 月 31 日-給付指 2022-84】</p> <p>～略～</p> <h3>2.20.2 様式</h3>	<p style="text-align: right;">【令和 4 年 08 月 31 日-給付指 2022-84】</p> <p>～略～</p> <h3>2.20.2 様式</h3>
<p style="text-align: right;">【令和 2 年 07 月 31 日-給付指 2020-83】</p> <p>～略～</p> <p>- 「老齢年金の繰上げ請求についてのご確認」 【表】 -</p>	<p style="text-align: right;">【令和 2 年 07 月 31 日-給付指 2020-83】</p> <p>～略～</p> <p>- 「老齢年金の繰上げ請求についてのご確認」 【表】 -</p>
<p>The screenshot shows a yellow-bordered page titled "老齢年金の繰上げ請求についてのご確認". It includes sections for "繰上げ請求の制度とは" (What is the advance payment system?), "繰上げ請求についての試験問題の確認" (Check the test questions about advance payment), and a detailed table of "老齢基礎年金の繰上げ率" (Advance rate of old-age basic pension) for various age groups from 60 to 64 years old.</p>	<p>This screenshot shows the same document as the new version but with a red border. It contains identical information, including the title "老齢年金の繰上げ請求についてのご確認", the explanation of the advance payment system, the test question section, and the table detailing the advance rates for old-age basic pension across different ages.</p>

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

- 「老齡年金の繰上げ請求についてのご確認」 【裏】 -

[illegible]

- 「老齢年金の繰上げ請求についてのご確認」 【裏】 -

[illegible]

年金給付業務編 > 老齢・障害・遺族・寡婦 > 裁定事務(応用事例) > 応用事例 > 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認

新バージョン	旧バージョン
1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認	1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認
【令和 6 年 09 月 30 日-給付指 2024-105※】 複数の厚生年金を有する者の遺族厚生年金は、該当する支給要件（短期要件・長期要件）によって決定する実施機関が異なる。 年金事務所での内容点検及び内容審査について次のとおり行う。	【令和 6 年 09 月 30 日-給付指 2024-105※】 複数の厚生年金を有する者の遺族厚生年金は、該当する支給要件（短期要件・長期要件）によって決定する実施機関が異なる。 年金事務所での内容点検及び内容審査について次のとおり行う。
1.45.1 ~1.45.2	1.45.1 ~1.45.2
～略～	～略～
1.45.3 短期・長期要件両方に該当する場合の内容点検	1.45.3 短期・長期要件両方に該当する場合の内容点検
(1) 短期・長期の選択	(1) 短期・長期の選択
①死亡者が複数の厚生年金加入期間を合計で 300 月以上有する場合、短期要件及び長期要件のいずれにも該当する死亡者の遺族が、年金請求書で「年金額が高い方の計算方法での決定を希望する。」を選択したときは、長期要件で決定する。 ②①の対象者のうち、次のいずれかに該当し、死亡者の生年月日が昭和 21 年 4 月 2 日以降、かつ死亡者の平成 27 年 9 月以前の共済組合等の加入期間があり、かつ当該加入期間が 300 月未満の場合は、短期要件で決定する。 ・共済組合等の加入期間中に死亡した場合	①死亡者に複数の厚生年金加入期間があり、合計月数を 300 月以上有する場合、短期要件及び長期要件のいずれにも該当する死亡者の遺族が、年金請求書で「年金額が高い方の計算方法での決定を希望する。」を選択したときは、長期要件で決定する。 ②例外として、次のいずれかに該当し、死亡者の生年月日が昭和 21 年 4 月 2 日以降、かつ死亡者の平成 27 年 9 月以前の共済組合等の加入期間があり、かつ当該加入期間が 300 月未満の場合は、短期要件で決定する。 ・共済組合等の加入期間中に死亡した場合

<div>・ 共済組合等の加入期間後、かつ共済組合等の加入期間中を初診日とする傷病により、当該初診日から起算して 5 年を経過する日前に死亡した場合（共済組合等から短期要件で決定した旨の連絡があった場合のみ。）</div> <div>・ 共済組合等の加入期間後に死亡、かつ死亡者が共済組合等で支給される障害等級 1 ・ 2 級に該当する障害共済年金又は障害年金の受給権者である場合</div> <div>③①②に基づき判定した結果、長短要件が金額的に有利にならないことが共済組合等からの連絡により判明した場合は、【給付指 2025-86】に基づき「遺族年金見込額試算のための情報提供依頼」で取得した共済組合等の加入期間に係る年金の額試算結果と、第 1 号厚生年金期間のみの遺族厚生年金の年金額試算結果より、長期要件、短期要件（本来水準）及び短期要件（旧水準）の 3 つの計算結果を比較して、金額が大きい方の要件で決定する。</div> <div><div>XLS</div>遺族年金見込額試算のための情報提供依頼</div> <div>-</div> <div>遺族厚生年金の短期・長期要件の有利判定フローチャート</div> <div>-</div>	<div>・ 共済組合等の加入期間後、かつ共済組合等の加入期間中を初診日とする傷病により、当該初診日から起算して 5 年を経過する日前に死亡した場合（共済組合等から短期要件で決定した旨の連絡があった場合のみ。）</div> <div>・ 共済組合等の加入期間後に死亡、かつ死亡者が共済組合等で支給される障害等級 1 ・ 2 級に該当する障害共済年金又は障害年金の受給権者である場合</div> <div><div>📌 Point</div><div>・ 一元化法施行前（平成 27 年 9 月以前）の共済組合等の加入期間がある場合、共済組合等から経過的職域加算額が支給される。経過的職域加算額（短期要件）は、共済組合等の加入期間が 300 月未満である場合は 300 月とみなして計算するため、上記②に該当する場合は短期要件で決定した方が有利となる。</div><div>・ 死亡者に厚生年金と共済組合等の加入期間を有する場合の長期要件・短期要件の有利判定の際、合計月数に国民年金の期間は含めないことに注意する。</div><div><div>👉 [指示]給付指 2016-63</div><div>👉 [指示]給付指 2023-69</div></div><div>(2) 要件決定の確認</div><div><div>✅ Check</div><div><input type="checkbox"/>死亡者の年金加入状況、請求書に記載されている遺族厚生年金の計算方法の決定等を確認して、上記の要件に基づき、長期要件、短期要件のいずれに該当するかを確認する。</div></div></div>
--	---

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

■遺族厚生年金の短期・長期要件の有利判定フローチャート

厚生法第58条第1項第4号(長期要件)に該当

該当する

厚生法第58条第1項第1号~第3号(短期要件)に該当

該当する

死亡者の厚生年金の被保険者期間と共済組合等の加入期間(2以上の期間)の合計が300月以上あるか

300月未満

300月以上

短期要件

長期要件

短期要件
OR
要件無し

該当しない

該当しない

平成27年9月以前の共済組合等の加入期間が300月未満で、死亡者の生年月日が昭和21年4月2日以降、かつ①~③のいずれかに該当
①共済組合等の加入期間中の死亡
②共済組合等の加入期間中を初診日とする傷病による当該初診日から起算して5年を経過する日以前の死亡
③死亡者が共済組合等で支給される障害給付の受給権者

300月以上

該当する

該当しない

※別紙2計算例1参照

※別紙2計算例2参照

※別紙2計算例3参照

※上記フローチャートに基づき判定した結果、金額的に有利にならないことが共済組合からの連絡により判明した場合は、加入期間を有する実施機関と相互に額試算を行った上で、金額的に有利となる長短要件で決定する。




注意

- ・本来水準又は旧水準どちらか低い方の額試算を行う場合、年金額試算機能では水準の高い方の金額しか試算できないため、同機能を使用せず、【給付指 2025-86】を参考に算出すること。
- ・第1号厚生年金期間のみの遺族厚生年金の年金額について、年金額試算機能で試算すると300月未満の場合は300月にみなした後の金額で計算されるため、この場合は同機能を使用せず、【給付指 2025-86】を参考に算出すること。
- ・年金額試算の計算結果の比較に際し、1~4号厚生年金期間の合計が300月未満の場合はそれぞれの報酬比例額(実期間に基づき計算した額)を合計した後に300月にみなす計算を行うこと。

Point

- ・一元化法施行前(平成27年9月以前)の共済組合等の加入期間がある場合、共済組合等から経過職域加算額が支給される。経過職域加算額(短期要件)は、共済組合等の加入期間が300月未



6 / 27

<p>満である場合は 300 月とみなして計算するため、上記②に該当する場合は短期要件で決定した方が有利となる。</p> <p>・ 死亡者に厚生年金と共済組合等の加入期間を有する場合の長期要件・短期要件の有利判定の際、合計月数に国民年金の期間は含めないことに注意する。</p> <p> [指示]給付指 2023-69</p> <p> [指示]給付指 2025-86</p> <p>(2) 要件決定の確認</p>	
<div><div> Check</div></div> <p><input type="checkbox"/>死亡者の年金加入状況、請求書に記載されている遺族厚生年金の計算方法の決定等を確認して、上記の要件に基づき、長期要件、短期要件のいずれに該当するかを確認する。</p>	

年金給付業務編 > 老齢・障害・遺族・寡婦 > 年金請求書(国民年金・厚生年金保険老齢給付)【老齢厚生】 > 年金事務所 > 請求書の内容点検

新バージョン	旧バージョン
3.1.4 繰下げ請求	3.1.4 繰下げ請求
【令和2年07月31日-給付指2020-83】	【令和2年07月31日-給付指2020-83】
(1) 繰下げ意思の確認	(1) 繰下げ意思の確認
～略～	～略～
(2) 繰下げ確認書による確認が必要な者	(2) 繰下げ確認書による確認が必要な者
<ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳を過ぎて新規請求の年金請求書を提出し、繰下げ申出書を添付しない者 ・ 66歳を過ぎて新規請求の年金請求書を提出し、繰下げ申出書の添付がある者 ・ 65歳直前(2か月以内)に特老厚の年金請求書を提出した者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳を過ぎて新規請求の年金請求書を提出し、繰下げ申出書を添付しない者 ・ 66歳を過ぎて新規請求の年金請求書を提出し、繰下げ申出書の添付がある者 ・ 65歳直前(2か月以内)に特老厚の年金請求書を提出した者
注意	注意
<ul style="list-style-type: none"> ・ 裁定日が65歳到達月前月の諸変更締切日より後の者には「年金請求書(65歳はがき)」が送付されないため、「繰下げ確認書」での繰下げ希望の確認が必要となる。 ・ 65歳直前(2か月以内)でない時期に特老厚の年金請求書を受付した場合であっても、共済組合等の加入期間を有する等により裁定処理に期間を要することが見込まれる場合は、「繰下げ確認書」での繰下げ希望の確認が必要となる。 ・ 遺族年金等の他年金の受給権を有していることにより繰下げできない場合は、「老齢年金の受取方法確認書(老齢年金の繰下げ意思についての確認)」の提出は不要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裁定日が65歳到達月前月の諸変更締切日より後の者には「年金請求書(65歳はがき)」が送付されないため、「繰下げ確認書」での繰下げ希望の確認が必要となる。 ・ 65歳直前(2か月以内)でない時期に特老厚の年金請求書を受付した場合であっても、共済組合等の加入期間を有する等により裁定処理に期間を要することが見込まれる場合は、「繰下げ確認書」での繰下げ希望の確認が必要となる。
～略～	～略～

年金給付業務編 > 老齢・障害・遺族・寡婦 > 年金請求書(国民年金・厚生年金保険老齢給付)【老齢厚生】> 年金事務所 > 請求書の内容点検

新バージョン	旧バージョン
3.1.5 在職老齢年金	3.1.5 在職老齢年金
～略～	～略～
(3) 特別支給の老齢厚生年金の支給停止額計算における注意点	(3) 特別支給の老齢厚生年金の支給停止額計算における注意点
～略～	～略～
②高年齢雇用継続給付との調整	②高年齢雇用継続給付との調整
65歳未満の特別支給の老齢厚生年金(繰上げ老齢厚生年金を含む。)の受給権者が厚生年金保険の被保険者であり、かつ高年齢雇用継続給付を受給している間は、在職による支給停止に加えて、標準報酬月額最大4%に相当する額が支給停止される。	65歳未満の特別支給の老齢厚生年金(繰上げ老齢厚生年金を含む。)の受給権者が厚生年金保険の被保険者であり、かつ高年齢雇用継続給付を受給している間は、在職による支給停止に加えて、標準報酬月額最大4%に相当する額が支給停止される。
 Point	 Point
次のいずれかの場合は、経過措置により従前の率(最大で標準報酬月額の6%)が適用される。	次のいずれかの場合は、経過措置により従前の率(最大で標準報酬月額の6%)が適用される。
・60歳到達日が施行日(令和7年4月1日)より前の者が、 施行日前 に高年齢雇用継続基本給付金を受給する場合	・60歳到達日が施行日(令和7年4月1日)より前の者が高年齢雇用継続基本給付金を受給する場合
・施行日(令和7年4月1日)より前に再就職した者が高年齢再就職給付金を受給する場合	・施行日(令和7年4月1日)より前に再就職した者が高年齢再就職給付金を受給する場合
～略～	～略～

新バージョン

3.3.5 「老齡年金請求書 入力帳票」の記入

～略～

＜様式＞ 老齡年金請求書 入力帳票

老齢年金請求書 入力帳票 (兼 共済組合等確認用)																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> ① 記録不要欄 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">(厚割)</td> <td style="width: 33%;">(減額)</td> <td style="width: 33%;">(国庫)</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 33%;">(国庫)</td> <td style="width: 33%;">(増額)</td> <td style="width: 33%;">(私割)</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 75%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">③ 船載加</td> <td style="width: 12.5%;">④ 受付</td> <td style="width: 12.5%;">⑤ 遺</td> <td style="width: 12.5%;">⑥ 未保</td> <td style="width: 12.5%;">⑦ 支払</td> <td style="width: 12.5%;">⑧ 滞賦</td> <td style="width: 12.5%;">⑨ 繰越</td> <td style="width: 12.5%;">⑩ 厚給</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>										(厚割)	(減額)	(国庫)				(国庫)	(増額)	(私割)				③ 船載加	④ 受付	⑤ 遺	⑥ 未保	⑦ 支払	⑧ 滞賦	⑨ 繰越	⑩ 厚給													
(厚割)	(減額)	(国庫)																																								
(国庫)	(増額)	(私割)																																								
③ 船載加	④ 受付	⑤ 遺	⑥ 未保	⑦ 支払	⑧ 滞賦	⑨ 繰越	⑩ 厚給																																			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> ⑪ 下支元簿番 ⑫ 旧有 ⑬ 繰越 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> ⑭ 配偶者の年金コード・年金種別 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>													1																													
1																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> ⑮ 下支元簿番 ⑯ 旧有 ⑰ 繰越 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> ⑱ 本人の年金コード・年金種別 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>													1																													
1																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> ⑲ 他制度満了年月 ⑳ 合併対象記録 1 ㉑ 2 ㉒ 3 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> </div>																																										

～略～

旧バージョン

3.3.5 「老齡年金請求書 入力帳票」の記入



～略～

＜様式＞ 老齢年金請求書 入力帳票

[illegible]

～略～

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

(27) 『56』～『58』：共済コード 共済記録	(27) 『56』～『58』：共済コード 共済記録
<div data-bbox="188 268 322 300">  Check </div> <p data-bbox="188 331 1131 459">□共済コード、共済加入期間の自年月日・至年月日、共済要件種別コード、共済計算種別コードは、共済情報連携システムの収録内容を裁定入力画面に自動表示するため、入力帳票への記入を省略し「記入省略」等のゴム印を押印する。</p> <p data-bbox="188 483 1131 611">□共済情報連携システムに共済記録が未収録で年金加入期間確認通知書を参照する場合や、被保険者期間の重複、共済加入期間の至年月日が 70 歳到達日後になっている等の理由により共済情報連携システムから自動表示される内容を変更する必要がある場合は、共済記録を入力帳票へ記入する。</p> <p data-bbox="188 635 250 659">～略～</p>	<div data-bbox="1131 268 1265 300">  Check </div> <p data-bbox="1131 331 2074 459">□共済コード、共済加入期間の自年月日・至年月日、共済要件種別コード、共済計算種別コードは、共済情報連携システムの収録内容を裁定入力画面に自動表示するため、入力帳票への記入を省略し「記入省略」等のゴム印を押印する。</p> <p data-bbox="1131 483 2074 611">□共済情報連携システムに共済記録が未収録で年金加入期間確認通知書を参照する場合や被保険者期間の重複等の理由により共済情報連携システムから自動表示される内容を変更する必要がある場合は、共済記録を入力帳票へ記入する。</p> <p data-bbox="1131 635 1193 659">～略～</p>

年金給付業務編 > 老齢・障害・遺族・寡婦 > 年金請求書(国民年金・厚生年金保険老齢給付)【老齢厚生】> 事務センター > 入力前確認

新バージョン	旧バージョン
<div>4.3.2 「老齢年金請求書入力帳票」の入力前確認</div> <div>～略～</div> <div><様式> 老齢年金請求書入力帳票</div> <div><div>老齢年金請求書 入力帳票 (兼 共済組合等確認用)</div><div><div><div>① 記録不要項目 (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保)</div><div>② 船員加 ③ 受付 ④ 重 ⑤ 未保 ⑥ 支保 ⑦ 配状 ⑧ 沖崎 ⑨ 基礎 ⑩ 厚給</div><div>⑪ 下支え障害 ⑫ 旧有 ⑬ 障害</div><div>⑭ 配偶者の年金コード・年金種別 1 2 3</div><div>⑮ 本人の年金コード・年金種別 1 2 3</div><div>⑯ 他年金種別</div></div><div><div>⑰ 他制度満了年月 ⑱ ◆計算対象記録 1 ◆2 ◆3</div><div>◆4 ◆5 ◆6 ◆7</div><div>◆8 ◆9 ◆10 ◆11</div><div>◆12 ◆13 ◆14 ◆15</div></div><div><div>◆計算コード 共済記録 1 ◆2</div><div>◆3 ◆4 ◆5 ◆6</div><div>◆7 ◆8 ◆9</div></div><div><div>⑲ ◆受給開始年月日 ⑳ ◆停止期間 ㉑ ◆本文 ㉒ ◆失権年月日</div><div>⑲ ◆受給開始年月日 ⑳ ◆停止期間 ㉑ ◆本文 ㉒ ◆失権年月日</div></div><div><div>㉓ ◆受給開始年月日 ㉔ ◆停止期間 ㉕ ◆本文 ㉖ ◆失権年月日</div><div>㉓ ◆受給開始年月日 ㉔ ◆停止期間 ㉕ ◆本文 ㉖ ◆失権年月日</div></div><div><div>㉗ 区分 ㉘ ◆事件記録該当 ㉙ 終了表示 E</div><div>㉗ 区分 ㉘ ◆事件記録該当 ㉙ 終了表示 E</div></div><div><div>※ 請求・支払記録等記入 基礎年金番号 受給者氏名 拠点名 職業 障害認定年月 老齢給付開始 受給額 令和 年 月 日 25年・10年 月</div><div>※ 請求・支払記録等記入 基礎年金番号 受給者氏名 拠点名 職業 障害認定年月 老齢給付開始 受給額 令和 年 月 日 25年・10年 月</div></div></div></div>	<div>4.3.2 「老齢年金請求書入力帳票」の入力前確認</div> <div>～略～</div> <div><様式> 老齢年金請求書入力帳票</div> <div><div>老齢年金請求書 入力帳票 (兼 共済組合等確認用)</div><div><div><div>① 記録不要項目 (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保)</div><div>② 船員加 ③ 受付 ④ 重 ⑤ 未保 ⑥ 支保 ⑦ 配状 ⑧ 沖崎 ⑨ 基礎 ⑩ 厚給</div><div>⑪ 下支え障害 ⑫ 旧有 ⑬ 障害</div><div>⑭ 配偶者の年金コード・年金種別 1 2 3</div><div>⑮ 本人の年金コード・年金種別 1 2 3</div><div>⑯ 他年金種別</div></div><div><div>⑰ ◆他制度満了年月 ⑱ ◆計算対象記録 1 ◆2 ◆3</div><div>◆4 ◆5 ◆6 ◆7</div><div>◆8 ◆9 ◆10 ◆11</div><div>◆12 ◆13 ◆14 ◆15</div></div><div><div>◆計算コード 共済記録 1 ◆2</div><div>◆3 ◆4 ◆5 ◆6</div><div>◆7 ◆8 ◆9</div></div><div><div>⑲ ◆受給開始年月日 ⑳ ◆停止期間 ㉑ ◆本文 ㉒ ◆失権年月日</div><div>⑲ ◆受給開始年月日 ⑳ ◆停止期間 ㉑ ◆本文 ㉒ ◆失権年月日</div></div><div><div>㉓ ◆受給開始年月日 ㉔ ◆停止期間 ㉕ ◆本文 ㉖ ◆失権年月日</div><div>㉓ ◆受給開始年月日 ㉔ ◆停止期間 ㉕ ◆本文 ㉖ ◆失権年月日</div></div><div><div>㉗ 区分 ㉘ ◆事件記録該当 ㉙ 終了表示 E</div><div>㉗ 区分 ㉘ ◆事件記録該当 ㉙ 終了表示 E</div></div><div><div>※ 請求・支払記録等記入 基礎年金番号 受給者氏名 拠点名 職業 障害認定年月 老齢給付開始 受給額 令和 年 月 日 25年・10年 月</div><div>※ 請求・支払記録等記入 基礎年金番号 受給者氏名 拠点名 職業 障害認定年月 老齢給付開始 受給額 令和 年 月 日 25年・10年 月</div></div></div></div>

新バージョン

3.3.3 「老齡年金請求書 入力帳票」の記入

～略～

＜様式＞ 老齡年金請求書 入力帳票

老齢年金請求書 入力帳票 (兼 共済組合等確認用)									
㊦ 記録不足欄 (番号) (範囲) (番号)		㊩ 記載加 ㊪ 受付 ㊫ 重 ㊬ 重複 ㊭ 重複 ㊮ 配付 ㊯ 重複 ㊰ 記録 ㊱ 記録							
㊲ 下支え障害 ㊳ 旧令 ㊴ 障害		㊵ 配偶者の年金コード・年金種別				㊶ 本人の年金コード・年金種別			
㊷ 他制度満了年月 ㊸ 合併対象記録 1 ㊹ 2 ㊺ 3		㊻ 4 ㊼ 5 ㊽ 6 ㊾ 7							
㊿ 8 ㊽ 9 ㊾ 10 ㊿ 11		㊽ 12 ㊾ 13 ㊿ 14 ㊽ 15							
㊽ 共済コード 共済記録 1 ㊾ 2		㊿ 3 ㊽ 4 ㊾ 5 ㊿ 6							
㊿ 7 ㊽ 8 ㊾ 9		㊽ 10 ㊾ 11 ㊿ 12							
㊽ 13 ㊾ 14 ㊿ 15		㊽ 16 ㊾ 17 ㊿ 18							
㊽ 19 ㊾ 20 ㊿ 21		㊽ 22 ㊾ 23 ㊿ 24							
㊽ 25 ㊾ 26 ㊿ 27		㊽ 28 ㊾ 29 ㊿ 30							
㊽ 31 ㊾ 32 ㊿ 33		㊽ 34 ㊾ 35 ㊿ 36							
㊽ 37 ㊾ 38 ㊿ 39		㊽ 40 ㊾ 41 ㊿ 42							
㊽ 43 ㊾ 44 ㊿ 45		㊽ 46 ㊾ 47 ㊿ 48							
㊽ 49 ㊾ 50 ㊿ 51		㊽ 52 ㊾ 53 ㊿ 54							
㊽ 55 ㊾ 56 ㊿ 57		㊽ 58 ㊾ 59 ㊿ 60							
㊽ 61 ㊾ 62 ㊿ 63		㊽ 64 ㊾ 65 ㊿ 66							
㊽ 67 ㊾ 68 ㊿ 69		㊽ 70 ㊾ 71 ㊿ 72							
㊽ 73 ㊾ 74 ㊿ 75		㊽ 76 ㊾ 77 ㊿ 78							
㊽ 79 ㊾ 80 ㊿ 81		㊽ 82 ㊾ 83 ㊿ 84							
㊽ 85 ㊾ 86 ㊿ 87		㊽ 88 ㊾ 89 ㊿ 90							
㊽ 91 ㊾ 92 ㊿ 93		㊽ 94 ㊾ 95 ㊿ 96							
㊽ 97 ㊾ 98 ㊿ 99		㊽ 100 ㊾ 101 ㊿ 102							
㊽ 103 ㊾ 104 ㊿ 105		㊽ 106 ㊾ 107 ㊿ 108							
㊽ 109 ㊾ 110 ㊿ 111		㊽ 112 ㊾ 113 ㊿ 114							
㊽ 115 ㊾ 116 ㊿ 117		㊽ 118 ㊾ 119 ㊿ 120							

～略～

旧バージョン

3.3.3 「老齢年金請求書 入力帳票」の記入

～略～



＜様式＞ 老齡年金請求書 入力帳票

老齢年金請求書 入力帳票（兼 共済組合等確認用）

① 記録不要制度 (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保) (国保)											
② 給・給加・受付・③ 量・率保・受保・配付・④ 補給・⑤ 通給・⑥ 通給											
⑦ 下支元庫番 ⑧ 台 ⑨ 保庫番											
⑩ 配属書の年令コード・年令種別											
⑪ 本人の年令コード・年令種別											
⑫ 他年令種別											
⑬ 他期間満了年月 ⑭ 会費引当記録 1 ⑮ 2 ⑯ 3											
⑰ 4 ⑱ 5 ㉑ 6 ㉒ 7											
㉓ 8 ㉔ 9 ㉕ 10 ㉖ 11											
㉗ 12 ㉘ 13 ㉙ 14 ㉚ 15											
㉛ 16 ㉜ 17 ㉝ 18 ㉞ 19											
㉟ 共済コード 共済記録 1 ㊱ 2											
㊲ 3 ㊳ 4											
㊴ 5 ㊵ 6											
㊶ 7 ㊷ 8											
㊸ 9											
㊹ 10 ㊺ 11 ㊻ 12 ㊼ 13 ㊽ 14 ㊾ 15											
㊿ 16 ㋀ 17 ㋁ 18 ㋂ 19 ㋃ 20 ㋄ 21 ㋅ 22 ㋆ 23 ㋇ 24 ㋈ 25 ㋉ 26 ㋊ 27 ㋋ 28 ㋌ 29 ㋍ 30											
㋎ 31 ㋏ 32 ㋐ 33 ㋑ 34 ㋒ 35 ㋓ 36 ㋔ 37 ㋕ 38 ㋖ 39 ㋗ 40 ㋘ 41 ㋙ 42 ㋚ 43 ㋛ 44 ㋜ 45 ㋝ 46 ㋞ 47 ㋟ 48 ㋠ 49 ㋡ 50 ㋢ 51 ㋣ 52 ㋤ 53 ㋥ 54 ㋦ 55 ㋧ 56 ㋨ 57 ㋩ 58 ㋪ 59 ㋫ 60 ㋬ 61 ㋭ 62 ㋮ 63 ㋯ 64 ㋰ 65 ㋱ 66 ㋲ 67 ㋳ 68 ㋴ 69 ㋵ 70 ㋶ 71 ㋷ 72 ㋸ 73 ㋹ 74 ㋺ 75 ㋻ 76 ㋼ 77 ㋽ 78 ㋾ 79 ㋿ 80 ㌀ 81 ㌁ 82 ㌂ 83 ㌃ 84 ㌄ 85 ㌅ 86 ㌆ 87 ㌇ 88 ㌈ 89 ㌉ 90 ㌊ 91 ㌋ 92 ㌌ 93 ㌍ 94 ㌎ 95 ㌏ 96 ㌐ 97 ㌑ 98 ㌒ 99 ㌓ 100											
㌔ 101 ㌕ 102 ㌖ 103 ㌗ 104 ㌘ 105 ㌙ 106 ㌚ 107 ㌛ 108 ㌜ 109 ㌝ 110 ㌞ 111 ㌟ 112 ㌠ 113 ㌡ 114 ㌢ 115 ㌣ 116 ㌤ 117 ㌥ 118 ㌦ 119 ㌧ 120 ㌨ 121 ㌩ 122 ㌪ 123 ㌫ 124 ㌬ 125 ㌭ 126 ㌮ 127 ㌯ 128 ㌰ 129 ㌱ 130 ㌲ 131 ㌳ 132 ㌴ 133 ㌵ 134 ㌶ 135 ㌷ 136 ㌸ 137 ㌹ 138 ㌺ 139 ㌻ 140 ㌼ 141 ㌽ 142 ㌾ 143 ㌿ 144 ㍀ 145 ㍁ 146 ㍂ 147 ㍃ 148 ㍄ 149 ㍅ 150 ㍆ 151 ㍇ 152 ㍈ 153 ㍉ 154 ㍊ 155 ㍋ 156 ㍌ 157 ㍍ 158 ㍎ 159 ㍏ 160 ㍐ 161 ㍑ 162 ㍒ 163 ㍓ 164 ㍔ 165 ㍕ 166 ㍖ 167 ㍗ 168 ㍘ 169 ㍙ 170 ㍚ 171 ㍛ 172 ㍜ 173 ㍝ 174 ㍞ 175 ㍟ 176 ㍠ 177 ㍡ 178 ㍢ 179 ㍣ 180 ㍤ 181 ㍥ 182 ㍦ 183 ㍧ 184 ㍨ 185 ㍩ 186 ㍪ 187 ㍫ 188 ㍬ 189 ㍭ 190 ㍮ 191 ㍯ 192 ㍰ 193 ㍱ 194 ㍲ 195 ㍳ 196 ㍴ 197 ㍵ 198 ㍶ 199 ㍷ 200											
㍸ 201 ㍹ 202 ㍺ 203 ㍻ 204 ㍼ 205 ㍽ 206 ㍾ 207 ㍿ 208 ㏀ 209 ㏁ 210 ㏂ 211 ㏃ 212 ㏄ 213 ㏅ 214 ㏆ 215 ㏇ 216 ㏈ 217 ㏉ 218 ㏊ 											

～略～

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

(28) 『56』～『58』：共済コード 共済記録	(28) 『56』～『58』：共済コード 共済記録
<div data-bbox="163 268 295 300">  Check </div> <p data-bbox="163 331 1104 459">□共済コード、共済加入期間の自年月日・至年月日、共済要件種別コード、共済計算種別コードは、共済情報連携システムの収録内容を裁定入力画面に自動表示するため、入力帳票への記入を省略し「記入省略」等のゴム印を押印する。</p> <p data-bbox="163 483 1104 611">□共済情報連携システムに共済記録が未収録で年金加入期間確認通知書を参照する場合や、被保険者期間の重複、共済加入期間の至年月日が 70 歳到達日後になっている等の理由により共済情報連携システムから自動表示される内容を変更する必要がある場合は、共済記録を入力帳票へ記入する。</p> <p data-bbox="163 675 230 699">～略～</p>	<div data-bbox="1104 268 1236 300">  Check </div> <p data-bbox="1104 331 2051 459">□共済コード、共済加入期間の自年月日・至年月日、共済要件種別コード、共済計算種別コードは、共済情報連携システムの収録内容を裁定入力画面に自動表示するため、入力帳票への記入を省略し「記入省略」等のゴム印を押印する。</p> <p data-bbox="1104 483 2051 611">□共済情報連携システムに共済記録が未収録で年金加入期間確認通知書を参照する場合や被保険者期間の重複等の理由により共済情報連携システムから自動表示される内容を変更する必要がある場合は、共済記録を入力帳票へ記入する。</p> <p data-bbox="1104 675 1171 699">～略～</p>

新バージョン

～略～

老齢年金請求書 入力帳票 (兼 共済組合等確認用)

① 記録不要制度

標準 (適用)	臨時 (適用)
国民 (適用)	雇用 (適用)

② 前職加 **③ 受付** **④ 重** **⑤ 未納** **⑥ 支保** **⑦ 配付** **⑧ 滞賦** **⑨ 基給** **⑩ 厚給**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

⑪ 下支え加算 **⑫ 旧給** **⑬ 厚給**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

⑭ 配属者の年金コード・年金種別

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

⑮ 本人の年金コード・年金種別

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

他 年 金 種 別

⑯ 老齢開始年月 **⑰ ◆合併対象記録 1** **◆2** **◆3**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
---	---	---	---

⑱ ◆配偶者の年金コード・年金種別 **◆4** **◆5** **◆6** **◆7**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
---	---	---	---

⑲ ◆8 **◆9** **◆10** **◆11** **◆12** **◆13** **◆14** **◆15**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
---	---	---	---

⑳ ◆12 **◆13** **◆14** **◆15**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
---	---	---	---

㉑ ◆配偶コード・共済記録 1 **◆3**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
---	---

㉒ ◆3 **㉓ ◆4** **◆5** **◆6**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
---	---

㉔ ◆7</


～略～

旧バージョン





～略～

[illegible]

～略～

新バージョン	旧バージョン
3.1.1 請求書の内容点検	3.1.1 請求書の内容点検
<p>年金請求書(国民年金・厚生年金保険遺族給付)(以下「請求書」という。)の返戻や説明誤りを防止するため、請求書の各項目について窓口で点検の上、受付する。</p> <p>請求書の提出者の確認、記入漏れ等による請求書の補正、及び添付書類が不足している場合の取扱いについては、「裁定事務(共通確認・審査)」2.1を確認する。</p> <p>また、添付書類については、原則、交付日が受給権発生日以降であり、かつ提出日から6か月以内に交付されたものを求め、そうでない場合は返戻する。</p> <p> [要領]年金給付業務編「裁定事務(共通確認・審査)」2.1 窓口担当者による受付時の点検</p> <p> [通知]平成17年12月16日庁保険発第1216001号</p>	<p>年金請求書(国民年金・厚生年金保険遺族給付)(以下「請求書」という。)の返戻や説明誤りを防止するため、請求書の各項目について窓口で点検の上、受付する。</p> <p>請求書の提出者の確認、記入漏れ等による請求書の補正、及び添付書類が不足している場合の取扱いについては、「裁定事務(共通確認・審査)」2.1を確認する。</p> <p>また、添付書類については、原則、交付日が受給権発生日以降であり、かつ提出日から6か月以内に交付されたものを求め、そうでない場合は返戻する。</p> <p> [要領]年金給付業務編「裁定事務(共通確認・審査)」2.1 窓口担当者による受付時の点検</p> <p> [通知]平成17年12月16日庁保険発第1216001号</p>
<p>(1) ～ (20)</p>	<p>(1) ～ (20)</p>
<p>～略～</p>	<p>～略～</p>
<p>(21) 短期・長期要件両方に該当した場合</p>	<p>(21) 短期・長期要件両方に該当した場合</p>
<p> Check</p> <p><input type="checkbox"/> 年金額が高い方の計算方法での決定を希望するか又は指定する計算方法での決定を希望するかが選択されていることを確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 窓口装置(WM)で短期要件と長期要件のそれぞれの年金見込額を算出し、選択されている計算方法に応じて次のとおり対応する。</p> <p>①年金額が高い方の計算方法での決定を希望している場合</p> <p>年金額が高い方の要件の年金見込額を請求者に説明する。</p> <p>②指定する計算方法での決定を希望している場合</p>	<p> Check</p> <p><input type="checkbox"/> 年金額が高い方の計算方法での決定を希望するか又は指定する計算方法での決定を希望するかが選択されていることを確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 窓口装置(WM)で短期要件と長期要件のそれぞれの年金見込額を算出し、選択されている計算方法に応じて次のとおり対応する。</p> <p>①年金額が高い方の計算方法での決定を希望している場合</p> <p>年金額が高い方の要件の年金見込額を請求者に説明する。</p> <p>②指定する計算方法での決定を希望している場合</p>

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)



<p>どちらの要件で遺族厚生年金を受給するか請求者に確認する。</p> <p><input type="checkbox"/>算出した年金見込額は窓口装置(WM)から出力し、請求書に添付する。</p>	<p>どちらの要件で遺族厚生年金を受給するか請求者に確認する。</p> <p><input type="checkbox"/>算出した年金見込額は窓口装置(WM)から出力し、請求書に添付する。</p>
<p> Point</p> <p>・死亡者が厚年及び共済の両方に加入していた場合の有利判定の確認については、給付指 2025-86を参照する。</p> <p> [指示]給付指 2025-86</p>	<p> Point</p> <p>・死亡者が厚年及び共済の両方に加入していた場合の有利判定の確認については、給付指 2016-63を参照する。</p> <p> [指示]給付指 2016-63</p>

年金給付業務編 > 老齢・障害・遺族・寡婦 > 年金請求書(国民年金・厚生年金保険遺族給付) > 年金事務所 > 内容審査

新バージョン	旧バージョン
3.3.4 「入力帳票」の記入	3.3.4 「入力帳票」の記入
～略～	～略～
(30) 『61』～『63』: 共済記録	(30) 『61』～『63』: 共済記録
<div><div><input checked="" type="checkbox"/> Check</div><div><p><input type="checkbox"/> 共済コード、共済加入期間の自年月日・至年月日、共済要件種別コード、共済計算種別コードは、共済情報連携システムの収録内容を裁定入力画面に自動表示するため、入力帳票への記入を省略し「記入省略」等のゴム印を押印する。</p><p><input type="checkbox"/> 共済情報連携システムに共済記録が未収録で年金加入期間確認通知書を参照する場合や、被保険者期間の重複、共済加入期間の至年月日が 70 歳到達日後になっている等の理由により共済情報連携システムから自動表示される内容を変更する必要がある場合は、共済記録を入力帳票へ記入する。</p></div></div>	<div><div><input checked="" type="checkbox"/> Check</div><div><p><input type="checkbox"/> 共済コード、共済加入期間の自年月日・至年月日、共済要件種別コード、共済計算種別コードは、共済情報連携システムの収録内容を裁定入力画面に自動表示するため、入力帳票への記入を省略し「記入省略」等のゴム印を押印する。</p><p><input type="checkbox"/> 共済情報連携システムに共済記録が未収録で年金加入期間確認通知書を参照する場合や被保険者期間の重複等の理由により共済情報連携システムから自動表示される内容を変更する必要がある場合は、共済記録を入力帳票へ記入する。</p></div></div>
～略～	～略～



新バージョン	旧バージョン
<div>3.3.4 入力帳票の記入</div> <div>～略～</div> <div>(26) 『46』～『48』: 共済コード 共済記録</div> <div><div><div>Check</div></div><div><div><div><div><div><div><div>□共済コード、共済加入期間の自年月日・至年月日、共済要件種別コード、共済計算種別コードは、共済情報連携システムの収録内容を裁定入力画面に自動表示するため、入力帳票への記入を省略し「記入省略」等のゴム印を押印する。</div><div>□共済情報連携システムに共済記録が未収録で年金加入期間確認通知書を参照する場合や、被保険者期間の重複、共済加入期間の至年月日が 70 歳到達日後になっている等の理由により共済情報連携システムから自動表示される内容を変更する必要がある場合は、共済記録を入力帳票へ記入する。</div></div></div></div></div></div></div></div> <div>～略～</div>	<div>3.3.4 入力帳票の記入</div> <div>～略～</div> <div>(26) 『46』～『48』: 共済コード 共済記録</div> <div><div><div>Check</div></div><div><div><div><div><div><div><div>□共済コード、共済加入期間の自年月日・至年月日、共済要件種別コード、共済計算種別コードは、共済情報連携システムの収録内容を裁定入力画面に自動表示するため、入力帳票への記入を省略し「記入省略」等のゴム印を押印する。</div><div>□共済情報連携システムに共済記録が未収録で年金加入期間確認通知書を参照する場合や被保険者期間の重複等の理由により共済情報連携システムから自動表示される内容を変更する必要がある場合は、共済記録を入力帳票へ記入する。</div></div></div></div></div></div></div></div> <div>～略～</div>

年金給付業務編 > 本部回付(扶養・その他) > 老齢厚生・退職共済年金受給権者支給停止事由該当届 > 年金事務所 > 調整の仕組み・届書の点検項目

新バージョン	旧バージョン
3.1.1 調整の仕組み	3.1.1 調整の仕組み
～略～	～略～
(2) 高年齢雇用継続給付(高年齢雇用継続基本給付金・高年齢再就職給付金)を受ける場合	(2) 高年齢雇用継続給付(高年齢雇用継続基本給付金・高年齢再就職給付金)を受ける場合
～略～  Point 「高年齢雇用継続給付」 次の両方の条件を満たす 60 歳以上 65 歳未満の厚生年金被保険者に、最大で新賃金の 10%相当額を支給する。 ・雇用保険の被保険者期間が 5 年以上ある ・60 歳時点と比較してそれ以降の賃金が 75%未満となった なお、次のいずれかの場合は、経過措置により従前の率(最大で新賃金の 15%)が適用される。 ・60 歳到達日が施行日(令和 7 年 4 月 1 日)より前の者が、 施行日前に 高年齢雇用継続基本給付金を受給する場合 ・施行日(令和 7 年 4 月 1 日)より前に再就職した者が高年齢再就職給付金を受給する場合 ～略～	～略～  Point 「高年齢雇用継続給付」 次の両方の条件を満たす 60 歳以上 65 歳未満の厚生年金被保険者に、最大で新賃金の 10%相当額を支給する。 ・雇用保険の被保険者期間が 5 年以上ある ・60 歳時点と比較してそれ以降の賃金が 75%未満となった なお、次のいずれかの場合は、経過措置により従前の率(最大で新賃金の 15%)が適用される。 ・60 歳到達日が施行日(令和 7 年 4 月 1 日)より前の者が高年齢雇用継続基本給付金を受給する場合 ・施行日(令和 7 年 4 月 1 日)より前に再就職した者が高年齢再就職給付金を受給する場合 ～略～

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

年金給付業務編 > 年金一元化 > 共済組合等の加入期間を有する者から提出があった届書等に関する事務 > 電子回付における注意点 > 遺族厚生年金の長短要件判定結果の表示



新バージョン	旧バージョン
3.5 遺族厚生年金の長短要件判定結果の表示	3.5 遺族厚生年金の長短要件判定結果の表示
【令和 7 年 06 月 02 日-給付指 2025-60】	【令和 7 年 06 月 02 日-給付指 2025-60】
3.5.1 遺族厚生年金の長短要件判定結果の表示	3.5.1 遺族厚生年金の長短要件判定結果の表示
<p>短期要件と長期要件に該当し、年金額が高い計算方法での決定希望が請求書から確認できる場合は、審査後、確定した要件について、請求書 1 ページ目決定内容欄の「短期要件」又は「長期要件」のいずれかにチェックし電子回付する。</p> <p> [指示] 給付指 2025-86</p>	<p>短期要件と長期要件に該当し、年金額が高い計算方法での決定希望が請求書から確認できる場合は、審査後、確定した要件について、請求書 1 ページ目決定内容欄の「短期要件」又は「長期要件」のいずれかにチェックし電子回付する。</p> <p> [指示] 給付指 2016-63</p>

新バージョン	旧バージョン
<div>1.2.2 所得要件</div> <div>(1) 要件</div> <div>～略～</div> <div><div>Pin Point</div><div><div>・ 1 月～9 月分（令和 2 年以前は 1 月～7 月分）の支援給付金については、前々年の公的年金等の収入金額と他の所得の合計額（老齢・補足的老齢）、又は所得額（障害・遺族）で判定する。</div><div>・ 公的年金等の収入金額には、障害年金・遺族年金等の非課税収入は含まれない。～略～</div><div>・ 受給する基礎年金の選択替えや、老齢基礎年金の新規裁定により、将来に向かって発生する年金額が所得基準額を超過する場合でも、前年（又は前々年）の公的年金等の収入金額と他の所得の合計額が所得基準額以下であれば所得要件に該当する。</div></div></div> <div><div>～略～</div><div><div>令和N-1年1月</div><div>令和N年12月1月</div><div>令和N年12月1月</div><div>令和N+1年12月1月</div><div>令和N+2年12月1月</div><div>～</div></div><div><div>所得</div><div>令和N-1年分所得</div><div>令和N年分所得</div><div>令和N+1年分所得</div><div>～</div></div><div><div>審査対象</div><div>審査対象</div><div>審査対象</div></div><div><div>給付金支給対象月</div><div>令和N年10月</div><div>～</div><div>令和N+1年9月</div><div>令和N+1年10月</div><div>～</div><div>令和N+2年9月</div><div>令和N+2年10月</div><div>～</div><div>令和N+3年9月</div></div></div> <div>～略～</div>	<div>1.2.2 所得要件</div> <div>(1) 要件</div> <div>～略～</div> <div><div>Pin Point</div><div><div>・ 1 月～7 月分（令和 3 年以降は 1 月～9 月分）の支援給付金については、前々年の公的年金等の収入金額と他の所得の合計額（老齢・補足的老齢）、又は所得額（障害・遺族）で判定する。</div><div>・ 公的年金等の収入金額には、障害年金・遺族年金等の非課税収入は含まれない。</div></div></div> <div>～略～</div>









機密性2完全性2可用性2(年金給付部)










年金給付業務編 > 年金生活者支援給付金業務 > 継続認定及び所得状況届の事務処理 > 継続認定の事務処理 > 継続認定の事務処理

新バージョン	旧バージョン
2.1 継続認定の事務処理	2.1 継続認定の事務処理
【令和 7 年 08 月 01 日-給付指 2025-83】	【令和 7 年 08 月 01 日-給付指 2025-83】
2.1.1 継続認定の仕組み	2.1.1 継続認定の仕組み
(1) ～ (2)	(1) ～ (2)
～略～	～略～
(3) 継続認定のスケジュール	(3) 継続認定のスケジュール
<p>毎年 10 月に、システムによる継続認定は認定処理を実施する年度の切り替えを行うこととなっている。</p> <p>(例) 令和 5 年 10 月～令和 6 年 9 月処理：令和 5 年度の継続認定処理を行う。</p> <p>令和 6 年 10 月～令和 7 年 9 月処理：令和 6 年度の継続認定処理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続認定（年次） <p>12 月定期支払に向けて 10 月第一営業日時点の支援給付金受給者を抽出し、翌週から 2 週間に渡って認定処理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続認定（週次） <p>毎週第一営業日時点の支援給付金受給者を抽出し、第二営業日に認定処理を行う。</p> <p>～略～</p>	<p>毎年 10 月に、システムによる継続認定は認定処理を実施する年度の切り替えを行うこととなっている。</p> <p>(例) 令和 5 年 10 月～令和 6 年 9 月処理：令和 5 年度の継続認定処理を行う。</p> <p>令和 6 年 10 月～令和 7 年 9 月処理：令和 6 年度の継続認定処理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続認定（年次） <p>12 月定期支払に向けて 10 月初回の金曜日時点の支援給付金受給者を抽出し、翌週から 2 週間に渡って認定処理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続認定（週次） <p>毎週第一営業日時点の支援給付金受給者を抽出し、第二営業日に認定処理を行う。</p> <p>～略～</p>

新バージョン	旧バージョン
<div>5.2 遺族厚生年金の請求</div> <div>【令和 7 年 06 月 02 日-給付指 2025-60】</div> <div>～略～</div> <div>5.2.2 年金請求手続の説明</div> <div>年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）の受付に必要な説明を行う。</div> <div>(1) 年金請求書の記入の説明</div> <div>～略～</div> <div> Point</div> <div>～略～</div> <div>・短期要件・長期要件両方に該当する場合は、「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」3.1.1(21) 及び、本編「5.2.3 年金見込額等の説明」を参照の上、短期要件と長期要件それぞれの年金見込額を提示して説明し、「年金額が高い方の計算方法での決定を希望する」を希望するかどうかを確認する。「被用者年金一元化前（平成 27 年 9 月以前）に発生した遺族共済年金の受給権を有する場合」や「基金独自給付を考慮する必要がある場合」など、機構が支給事務を行う年金以外に考慮すべき事項があれば説明し、問題がないか確認した上で、年金請求書 5 ページ 6(8)の記入を求める。死亡者が厚生年金と共済年金の両方に加入していた場合の有利判定の確認は、「裁定事務（応用事例）1.45.3 短期・長期要件両方に該当する場合の内容点検」及び【給付指 2025-86】を確認する。</div>	<div>5.2 遺族厚生年金の請求</div> <div>【令和 7 年 06 月 02 日-給付指 2025-60】</div> <div>～略～</div> <div>5.2.2 年金請求手続の説明</div> <div>年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）の受付に必要な説明を行う。</div> <div>(1) 年金請求書の記入の説明</div> <div>～略～</div> <div> Point</div> <div>～略～</div> <div>・短期要件・長期要件両方に該当する場合は、「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」3.1.1(21) 及び、本編「5.2.3 年金見込額等の説明」を参照の上、短期要件と長期要件それぞれの年金見込額を提示して説明し、「年金額が高い方の計算方法での決定を希望する」を希望するかどうかを確認する。「被用者年金一元化前（平成 27 年 9 月以前）に発生した遺族共済年金の受給権を有する場合」や「基金独自給付を考慮する必要がある場合」など、機構が支給事務を行う年金以外に考慮すべき事項があれば説明し、問題がないか確認した上で、年金請求書 5 ページ 6(8)の記入を求める。死亡者が厚生年金と共済年金の両方に加入していた場合の有利判定の確認は、「裁定事務（応用事例）1.45.3 短期・長期要件両方に該当する場合の内容点検」及び【給付指 2016-63】を確認する。</div>












機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

<p>・短期要件と長期要件の両方に該当し、その年金額が同額となる場合に、「年金額が高い方の計算方法での決定を希望する」を選択したときは、短期要件で決定されることとなるが、受診状況等証明書の添付や、因果関係の認定を必要とするときは、添付書類取得のための費用及び審査に時間がかかることを説明した上で、短期要件・長期要件どちらを選択するか確認する。</p> <p>～略～</p> <p>・複数請求者がいる場合（死亡者の配偶者と子、父と母等）、個人番号の提供を受ける請求者全員の本人確認（番号確認及び身元確認）が必要となる。なお、来訪した請求者から他の請求者の個人番号の提供を受けるときは、代理人から提供があった場合と同様に、個人番号の提供を受ける請求者全員の番号確認、代理人（来訪した請求者）の身元確認及び代理権の確認を行うこと。</p> <p>・請求者が昭和 38 年 4 月 2 日以降生まれの者（令和 10 年 4 月 1 日以降に 65 歳に到達する者）である場合、以下の説明を行った上で遺族厚生年金の請求意思を確認すること。</p> <p>①遺族厚生年金の受給権を有した場合でも、遺族厚生年金を請求しない場合は、66 歳到達以降に老齢厚生年金の繰下げ請求ができること。</p> <p>②遺族厚生年金の受給権を有した場合でも、老齢基礎年金については、遺族厚生年金の請求有無にかかわらず、66 歳到達以降に繰下げ請求ができること。</p> <p> [要領] 制度共通業務編 窓口確認 相談受付と本人確認 1.5 個人番号</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）2.2 請求書記入例</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）2.3 添付書類一覧</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）3.1 窓口受付</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 裁定事務（応用事例）1.45 3 短期・長期要件両方に該当する場合の内容点検</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 裁定事務（応用事例） 1.46 恩給等の受給権者に係る遺族の支給要件の確認</p> <p> [要領] 情報連携による添付書類の省略 情報連携による添付書類の省略 第 2 章 情報連携業務による確認方法</p> <p> [指示] 給付指 2014-56</p>	
---	--

<p>・短期要件と長期要件の両方に該当し、その年金額が同額となる場合に、「年金額が高い方の計算方法での決定を希望する」を選択したときは、短期要件で決定されることとなるが、受診状況等証明書の添付や、因果関係の認定を必要とするときは、添付書類取得のための費用及び審査に時間がかかることを説明した上で、短期要件・長期要件どちらを選択するか確認する。</p> <p>～略～</p> <p>・複数請求者がいる場合（死亡者の配偶者と子、父と母等）、個人番号の提供を受ける請求者全員の本人確認（番号確認及び身元確認）が必要となる。なお、来訪した請求者から他の請求者の個人番号の提供を受けるときは、代理人から提供があった場合と同様に、個人番号の提供を受ける請求者全員の番号確認、代理人（来訪した請求者）の身元確認及び代理権の確認を行うこと。</p> <p> [要領] 制度共通業務編 窓口確認 相談受付と本人確認 1.5 個人番号</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）2.2 請求書記入例</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）2.3 添付書類一覧</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）3.1 窓口受付</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 裁定事務（応用事例）1.45 3 短期・長期要件両方に該当する場合の内容点検</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 裁定事務（応用事例） 1.46 恩給等の受給権者に係る遺族の支給要件の確認</p> <p> [要領] 情報連携による添付書類の省略 情報連携による添付書類の省略 第 2 章 情報連携業務による確認方法</p> <p> [指示] 給付指 2016-63</p> <p> [指示] 給付指 2014-56</p> <p>～略～</p> <p>5.2.6 その他</p>	
---	--

<div><div> [指示] 給付指 2025-86</div><div> [指示] 事企指 2025-35</div></div> <p>～略～</p> <h2>5.2.6 その他</h2>	<div><h3>(1) 状況に応じた説明</h3><div><div> Check</div><div><input type="checkbox"/> 死亡者、請求者の状況に応じた説明を行う。</div></div><div><div> Point</div><div>個別の状況に応じ、必要な説明を行う例</div></div><p>～略～</p><div><div>⑤死亡者に共済組合加入期間がある場合</div><div><ul style="list-style-type: none">・「裁定事務（応用事例）1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認」を参照する。・被用者年金一元化後（平成 27 年 10 月以降）に発生した遺族厚生年金（短期要件の場合）については、死亡日に加入していた実施機関において、他の実施機関の加入期間も含めて年金額が決定されることを説明する。・「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」3.1.1(23)の確認により、短期要件の遺族厚生年金の請求において、共済組合等の追加費用対象期間がある場合等は、全期間を遺族共済年金として決定するため、当該特殊期間を保持する実施機関に請求書を回付することを説明する。・短期・長期要件両方に該当する場合は、「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」3.1.1(22)及び【給付指 2016-63】を確認し、有利判定の説明及び年金受給選択申出書の要否の確認を行う。</div></div><div><div>⑥因果関係の認定が必要な場合</div><div><p>「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」3.1.1(18)、(19)の確認により、短期要件の判断に必要な場合は、死亡の原因となった傷病との因果関係の認定のうえで決定されることを説明する。</p><div><div> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）3.1.1 請求書の内容点検</div></div></div></div></div>
---	--

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

<p>「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」3.1.1(18)、(19)の確認により、短期要件の判断に必要な場合は、死亡の原因となった傷病との因果関係の認定のうえで決定されることを説明する。</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）3.1.1 請求書の内容点検</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 裁定事務（共通確認・審査）2.32 遺族（基礎・厚生）年金額改定請求書（様式 215 号）</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 裁定事務（応用事例） 1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認</p> <p> [手順書] その他 支払ヘルプデスクQ & A 8.1 遺族給付 QⅧ（子の出生）</p> <p> [指示] 給付指 2014-143</p> <p> [指示] 給付指 2025-86</p> <p>～略～</p>	<p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 裁定事務（共通確認・審査）2.32 遺族（基礎・厚生）年金額改定請求書（様式 215 号）</p> <p> [要領] 老齢・障害・遺族・寡婦 裁定事務（応用事例） 1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認</p> <p> [手順書] その他 支払ヘルプデスクQ & A 8.1 遺族給付 QⅧ（子の出生）</p> <p> [指示] 給付指 2014-143</p> <p> [指示] 給付指 2016-63</p> <p>～略～</p>
--	---


機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

【障害年金審査業務編新旧対照表】

障害年金審査業務編 > 障害年金審査業務マニュアル > 障害年金審査業務マニュアル > 年金請求書(国民年金障害基礎年金)【様式 107 号】 > 認定後審査・入力

新バージョン		旧バージョン	
2.5.1 認定後審査		2.5.1 認定後審査	
既に事前審査において審査した内容と重複する部分があるが、事故防止のため再度確認する。		既に事前審査において審査した内容と重複する部分があるが、事故防止のため再度確認する。	
(1) ～ (10)		(1) ～ (10)	
～略～		～略～	
(11) 入力依頼		(11) 入力依頼	
<div><div>Check</div></div>		<div><div>Check</div></div>	
□年金給付受付システムに「オンライン依頼中」を登録した後に年金請求書を委託業者へ引き渡す。		□年金給付受付システムに「オンライン依頼中」を登録した後に年金請求書を委託業者へ引き渡す。	
障害年金センターより委託業者への年金請求書の引渡しは、毎週月曜日、火曜日及び水曜日の午前に行う。		障害年金センターより委託業者への年金請求書の引渡しは、毎週月曜日、火曜日及び水曜日の午前に行う。	
-		-	
障害基礎年金 年金請求書審査方法・補正方法等(様式 107 号)		障害基礎年金 年金請求書審査方法・補正方法等(様式 107 号)	
-		-	
項目		審査方法・補正方法等	
～略～		～略～	
④傷病名	請求者にかかる診断書が添付されている場合、障害認定を受け、その結果、1 級又は 2 級の障害の状態に該当するときは、「傷病名」欄に主たる傷病から順に傷病名コードを左詰めで記入する。	④傷病名	請求者にかかる診断書が添付されている場合、障害認定を受け、その結果、1 級又は 2 級の障害の状態に該当するときは、「傷病名」欄に主たる傷病から順に傷病名コードを左詰めで記入する。
④診断書	認定調書の認定結果を記入する(資料 1 参照)。	④診断書	認定調書の認定結果を記入する(資料 1 参照)。
④等級	認定調書の認定結果を記入する。	④等級	認定調書の認定結果を記入する。
④有年数・有年	認定調書の認定結果を記入する。	④有年数・有年	認定調書の認定結果を記入する。
～略～		～略～	

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

㊤等級	認定調書の認定結果を記入する。	
㊤有年数・有年	認定調書の認定結果を記入する。  [要領]本編 9.7 共通資料 7	
～略～		

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

障害年金審査業務編 > 障害年金審査業務マニュアル > 障害年金審査業務マニュアル > 年金請求書(国民年金・厚生年金保険障害給付)【様式 104 号】 > 認定後審査・入力

新バージョン		旧バージョン	
3.5.1 認定後審査		3.5.1 認定後審査	
既に事前審査において審査した内容と重複する部分があるが、事故防止のため再度確認する。		既に事前審査において審査した内容と重複する部分があるが、事故防止のため再度確認する。	
(1) ～ (10)		(1) ～ (10)	
～略～		～略～	
(11) 入力依頼		(11) 入力依頼	
 Check		 Check	
<input type="checkbox"/> 年金給付受付システムに「オンライン依頼中」を登録した後に年金請求書を委託業者へ引き渡す。		<input type="checkbox"/> 年金給付受付システムに「オンライン依頼中」を登録した後に年金請求書を委託業者へ引き渡す。	
障害年金センターより委託業者への年金請求書の引渡しは、原則、毎週月曜日、火曜日及び水曜日の午前に行う。		障害年金センターより委託業者への年金請求書の引渡しは、原則、毎週月曜日、火曜日及び水曜日の午前に行う。	
障害厚生年金・障害手当金 年金請求書記入方法(様式 104 号)		障害厚生年金・障害手当金 年金請求書記入方法(様式 104 号)	
項目 記入方法		項目 記入方法	
～略～		～略～	
(外)等級	認定結果を記入する。	(外)等級	認定結果を記入する。
(上)等級		(上)等級	
有年数・有年	認定調書の認定結果を記入する。  [要領]本編 9.7 共通資料 7	有・有年	認定調書の認定結果を記入する。




機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

三	支給の対象となる障害の原因が第三者行為によるものであるときは第三者行為表示を記入する。	三	支給の対象となる障害の原因が第三者行為によるものであるときは第三者行為表示を記入する。
～略～		～略～	

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

【中央年金センター業務編新旧対照表】

中央年金センター業務編 > 共通業務 > ガイダンス > 支払業務における届書等の取扱い > 各種ツール等の利用

新バージョン	旧バージョン
3.4.1 お知らせシート	3.4.1 お知らせシート
～略～	～略～
(1) お知らせシートの作成	(1) お知らせシートの作成
<p>・～略～</p> <p> Point</p> <p>各届書編におけるお知らせ（勧奨など）送付先は、明記しているものを除き「年金事務所又は事務センター（送付元）とする。</p> <p>なお、届書を要する旨のお知らせを行うもののうち、過払いが生じ、かつ「給付指 2014-100 年金受給者が届出する諸変更届の届出漏れを把握した場合の取扱い（指示・依頼）」の対象となっている届書については、「移管に係る引継書（様式 1 号）」により、対象者の住所地を管轄する年金事務所宛で勧奨すること。</p> <p>・カバン発送スケジュールについては、年度ごとに業務スケジュールが示されるので「文書・カバン発送」を参照。</p> <p>・業務スケジュールは、00701_業務マニュアル・業務スケジュール・機構業務つうしん >>00301_業務スケジュールを参照。</p>	<p>・～略～</p> <p> Point</p> <p>各届書編におけるお知らせ（勧奨など）送付先は、明記しているものを除き「年金事務所又は事務センター（送付元）とする。</p> <p>なお、届書を要する旨のお知らせを行うもののうち、過払いが生じ、かつ「給付指 2014-100 年金受給者が届出する諸変更届の届出漏れを把握した場合の取扱い（指示・依頼）」の対象となっている届書については、「移管に係る引継書（様式 1 号）」により、対象者の住所地を管轄する年金事務所宛で勧奨すること。</p> <p> カバン発送スケジュールについて</p> <p>日本年金機構掲示板「00301 業務スケジュール」</p> <p>年度ごとに業務スケジュールが示されるので「文書・カバン発送」を参照のこと。</p> <p>～略～</p>
～略～	

[illegible]

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

[illegible]




[指示]給付指 2025-86

～略～


[illegible]





【指示】【給付指 2016-63】「死亡者が厚生年金の被保険者期間と共済組合等の加入期間を有する場合における遺族厚生年金の短期・長期要件の有利判定」

～略～



新バージョン	旧バージョン
7.2 選択(併給調整)処理	7.2 選択(併給調整)処理
7.2.1 確認手順	7.2.1 確認手順
～略～	～略～
(1) ～(9)	(1) ～(9)
～略～	～略～
(10) 選J 支給同一要件	(10) 選J 支給同一要件
<p>遺族厚生年金と遺族共済年金の複数受給権を有する場合は、同一支給事由であるか及び同一支給要件であるかを確認するための手順。</p> <p>支給事由及び支給要件が同一である場合は、両方の遺族年金をあわせて一つの遺族年金として併給可能。支給事由又は支給要件が異なる場合は選択関係となる。</p> <p> Point</p> <p>支給要件について</p> <p>被用者年金一元化法施行前に遺族年金が受給権発生している場合は、支給要件の確認が必要であるが、被用者年金一元化法施行後の遺族年金は、一つの年金として見なされているため、支給要件の確認は不要。</p> <p>なお、追加費用対象期間ありの場合、遺族共済年金が発生し得る。</p> <p> [指示]給付指 2025-86</p> <p>～略～</p>	<p>遺族厚生年金と遺族共済年金の複数受給権を有する場合は、同一支給事由であるか及び同一支給要件であるかを確認するための手順。</p> <p>支給事由及び支給要件が同一である場合は、両方の遺族年金をあわせて一つの遺族年金として併給可能。支給事由又は支給要件が異なる場合は選択関係となる。</p> <p> Point</p> <p>支給要件について</p> <p>被用者年金一元化法施行前に遺族年金が受給権発生している場合は、支給要件の確認が必要であるが、被用者年金一元化法施行後の遺族年金は、一つの年金として見なされているため、支給要件の確認は不要。</p> <p>なお、追加費用対象期間ありの場合、遺族共済年金が発生し得る。←【給付指 2016-63】死亡者が厚生年金の被保険者期間と共済組合等の加入期間を有する場合における遺族厚生年金の短期・長期要件の有利判定→</p> <p>～略～</p>

中央年金センター業務編 > 諸変更業務 > 請求書・該当届・変更届 > 老齢基礎・老齢厚生年金支給繰下げ請求書(様式第 235 号) > 返戻等



新バージョン		旧バージョン	
3.9 返戻等		3.9 返戻等	
【令和 3 年 09 月 17 日-給付指 2021-116】		【令和 3 年 09 月 17 日-給付指 2021-116】	
3.9.1 返戻文書作成方法		3.9.1 返戻文書作成方法	
～略～		～略～	
3.9.2 主な返戻理由		3.9.2 主な返戻理由	
様式第 2 3 5 号で使用する主な返戻理由は以下の通りとなる。参照先はこのマニュアル中で返戻の取り扱いとした記載がある箇所を示す。		様式第 2 3 5 号で使用する主な返戻理由は以下の通りとなる。参照先はこのマニュアル中で返戻の取り扱いとした記載がある箇所を示す。	
返戻理由		返戻理由	
	本マニュアル参照先		本マニュアル参照先
受付印の押印がない、もしくは不鮮明で日付の判別ができないため、こちらのお届については返戻します。	3.4.1	受付印の押印がない、もしくは不鮮明で日付の判別ができないため、こちらのお届については返戻します。	3.4.1
受給権発生前の厚生年金期間が、手番統合等により、期間追加されています。再裁定処理が必要となるため返戻します。	3.4.2	受給権発生前の厚生年金期間が、手番統合等により、期間追加されています。再裁定処理が必要となるため返戻します。	3.4.2
生計維持の確認書類がありませんので添付してください。	3.4.2	生計維持の確認書類がありませんので添付してください。	3.4.2
		 勤奨の作成方法等について [要領]業務処理要領 中央年金センター業務編 共通業務 ガイダンス 3.4.1「お知らせシート」	

3.9.3 勧奨（お知らせ文書）の取扱い	3.9.3 勧奨（お知らせ文書）の取扱い
<p>内容審査等で勧奨が必要となった場合は、カバン発送のスケジュールに合わせてすみやかに勧奨（以下「お知らせ文書」という）を送付できるよう「お知らせ文書」を作成のうえ、決裁後に年金事務所等へカバンで送付する。</p> <p>急ぎの場合は、年金事務所等へ電話連絡のうえ、お知らせ文書を送付する。</p> <p>注意</p> <p>書類が所在不明となることを防止するため、別人の届書を混在していないか、返戻先年金事務所等を間違えていないか確認する。</p> <p> Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カバン発送スケジュールについては、年度ごとに業務スケジュールが示されるので「文書・カバン発送」を参照。 ・業務スケジュールは、00701_業務マニュアル・業務スケジュール・機構業務つうしん >> 00301_業務スケジュール を参照。 <p> [要領]中央年金センター業務編 共通業務 ガイダンス 3.4.1「お知らせシート」</p>	<p>内容審査等で勧奨が必要となった場合は、カバン発送のスケジュールに合わせてすみやかに勧奨（以下「お知らせ文書」という）を送付できるよう「お知らせ文書」を作成のうえ、決裁後に年金事務所等へカバンで送付する。</p> <p>急ぎの場合は、年金事務所等へ電話連絡のうえ、お知らせ文書を送付する。</p> <p></p> <p>別人の届書を混在していないか、返戻先年金事務所等を間違えていないか確認する。</p> <p>書類が所在不明となることを防止するため。</p> <p> カバン発送スケジュールについて</p> <p>日本年金機構掲示板タイトル「00301_業務スケジュール」</p> <p>年度ごとに業務スケジュールが示されるので「文書・カバン発送」を参照のこと。</p>

中央年金センター業務編 > 諸変更業務 > 請求書・該当届・変更届 > 老齢厚生・退職共済年金受給権者支給停止事由該当届（様式第 583 号） > 概要

新バージョン	旧バージョン
5.1.2 概要	5.1.2 概要
(1) 要件	(1) 要件
<p>～略～</p> <p> Point</p> <p>次のいずれかの場合は、経過措置により従前の支給率（最大で新賃金の 15%）及び年金の支給停止率（標準報酬月額最大の 6%）が適用される。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 60 歳到達日が施行日（令和 7 年 4 月 1 日）より前の者が、施行日前に高年齢雇用継続基本給付金を受給する場合・ 施行日（令和 7 年 4 月 1 日）より前に再就職した者が高年齢再就職給付金を受給する場合 <p>～略～</p>	<p>～略～</p> <p> Point</p> <p>次のいずれかの場合は、経過措置により従前の支給率（最大で新賃金の 15%）及び年金の支給停止率（標準報酬月額最大の 6%）が適用される。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 60 歳到達日が施行日（令和 7 年 4 月 1 日）より前の者が高年齢雇用継続基本給付金を受給する場合・ 施行日（令和 7 年 4 月 1 日）より前に再就職した者が高年齢再就職給付金を受給する場合 <p>～略～</p>

中央年金センター業務編 > 諸変更業務 > 請求書・該当届・変更届 > 老齢基礎・老齢厚生年金裁定請求書/支給繰下げ請求書(様式第 235-1 号) > 返戻等

新バージョン	旧バージョン
28.9 返戻等	28.9 返戻等
28.9.1 返戻文書作成方法	28.9.1 返戻文書作成方法
～略～	～略～
28.9.2 勧奨（お知らせ文書）の取扱い	28.9.2 勧奨（お知らせ文書）の取扱い
<p>内容審査等で勧奨が必要となった場合は、カバン発送のスケジュールに合わせて速やかに勧奨（以下「お知らせ文書」という）を送付できるよう「お知らせ文書」を作成の上、決裁後に年金事務所等にカバンで送付する。</p> <p>急ぎの場合は、年金事務所等に電話連絡の上、お知らせ文書を送付する。</p> <p>注意</p> <p>書類が所在不明となることを防止するため、別人の届書を混在していないか返戻先年金事務所等を間違えていないか確認する。</p> <p> Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カバン発送スケジュールについては、年度ごとに業務スケジュールが示されるので「文書・カバン発送」を参照。 ・業務スケジュールは、00701_業務マニュアル・業務スケジュール・機構業務つうしん >> 00301_業務スケジュール を参照。 <p> [要領]中央年金センター業務編 共通業務 ガイダンス 3.4.1「お知らせシート」</p>	<p>内容審査等で勧奨が必要となった場合は、カバン発送のスケジュールに合わせて速やかに勧奨（以下「お知らせ文書」という）を送付できるよう「お知らせ文書」を作成の上、決裁後に年金事務所等にカバンで送付する。</p> <p>急ぎの場合は、年金事務所等に電話連絡の上、お知らせ文書を送付する。</p> <p>注意</p> <p>書類が所在不明となることを防止するため、別人の届書を混在していないか返戻先年金事務所等を間違えていないか確認する。</p>

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

中央年金センター業務編 > リスト補正業務 > リスト補正業務【0901】～【0950】 > 【0919】事故リスト1 > 概要







新バージョン				旧バージョン			
19.1.5 リストの出力契機				19.1.5 リストの出力契機			
業務分類	作成原因コード	処理分類	処理サイクル	業務分類	作成原因コード	処理分類	処理サイクル
金融機関一括変更	—	バッチ	月次	金融機関一括変更	—	バッチ	月次
※更新件数は更新件数リスト1（CU3605）で確認することができる。							

新バージョン	旧バージョン
6.2 遺族年金請求書に係る審査	6.2 遺族年金請求書に係る審査
～略～	～略～
6.2.17 長期／短期両方の要件に該当する可能性がある場合（ケ 2 1 - 1）	6.2.17 長期／短期両方の要件に該当する可能性がある場合（ケ 2 1 - 1）
長期要件で決定されているが、短期要件にも該当し、誤って受給者の意思通りではない支給要件で決定されている場合がある。	長期要件で決定されているが、短期要件にも該当し、誤って受給者の意思通りではない支給要件で決定されている場合がある。
(1) 長期要件で決定されているが短期要件にも該当する場合の確認	(1) 長期要件で決定されているが短期要件にも該当する場合の確認
<div>  Check </div> <p><input type="checkbox"/> 長期要件で決定している場合でも、支給要件、納付要件の確認を行い、短期要件にも該当していないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 短期要件にも該当する者は年金見込額を算出し、不利な計算方法となっていないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 年金額が低い方の支給要件で決定されている場合、受給者の意思通りの決定がされているか、相談事跡等を確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者に複数の厚生年金加入期間があり、合計月数が 300 月以上ある場合、死亡者の生年月日が昭和 21 年 4 月 2 日以降であり、かつ、死亡者の平成 27 年 9 月以前の共済組合等の加入期間が 300 月未満でないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡日が共済組合等の加入期間中でないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者が共済組合等で支給される障害共済年金（1・2 級）又は障害年金（1・2 級）の受給権者でないか確認する。</p>	<div>  Check </div> <p><input type="checkbox"/> 長期要件で決定している場合でも、支給要件、納付要件の確認を行い、短期要件にも該当していないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 短期要件にも該当する者は年金見込額を算出し、不利な計算方法となっていないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 年金額が低い方の支給要件で決定されている場合、受給者の意思通りの決定がされているか、相談事跡等を確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者に複数の厚生年金加入期間があり、合計月数が 300 月以上ある場合、死亡者の生年月日が昭和 21 年 4 月 2 日以降であり、かつ、死亡者の平成 27 年 9 月以前の共済組合等の加入期間が 300 月未満でないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡日が共済組合等の加入期間中でないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者が共済組合等で支給される障害共済年金（1・2 級）又は障害年金（1・2 級）の受給権者でないか確認する。</p>

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

<input type="checkbox"/> 受給者の意思通りの決定がされているか、相談事跡等を確認する。	<input type="checkbox"/> 受給者の意思通りの決定がされているか、相談事跡等を確認する。
<p> [指示] 給付指 2025-86</p> <p> [要領] 年金給付業務編「年金請求書(国民年金・厚生年金保険遺族給付)」3.3.1(15)～(23)支給要件、短期要件の確認、長期要件の確認、短期・長期要件両方に該当した場合</p> <p> [要領] 年金給付業務編「裁定事務(応用事例)」1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認</p> <p>6.2.18 長期／短期両方の要件に該当する可能性がある場合(ケ21-2)</p>	<p> [指示] 給付指 2016-63</p> <p> [要領] 年金給付業務編「年金請求書(国民年金・厚生年金保険遺族給付)」3.3.1(15)～(23)支給要件、短期要件の確認、長期要件の確認、短期・長期要件両方に該当した場合</p> <p> [要領] 年金給付業務編「裁定事務(応用事例)」1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認</p> <p>6.2.18 長期／短期両方の要件に該当する可能性がある場合(ケ21-2)</p>
<p>短期要件で決定されているが、長期要件にも該当し、受給者の意思通りではない支給要件で決定されている場合がある。</p> <p>(1) 短期要件で決定されているが長期要件にも該当する場合の確認</p>	<p>短期要件で決定されているが、長期要件にも該当し、受給者の意思通りではない支給要件で決定されている場合がある。</p> <p>(1) 短期要件で決定されているが長期要件にも該当する場合の確認</p>
<p> Check</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者の厚生年金が1号厚年記録のみか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 短期要件で決定している場合でも、支給要件、納付要件の確認を行い、長期要件にも該当していないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 長期要件にも該当する者は年金見込額を算出し、不利な計算方法となっていないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者に複数の厚生年金加入期間があり、合計月数が300月以上あるか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者の生年月日が昭和21年4月2日以降であり、かつ、死亡者の平成27年9月以前の共済組合等の加入期間が300月未満であるか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡日が共済組合等の加入期間中であるか確認する。</p>	<p> Check</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者の厚生年金が1号厚年記録のみか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 短期要件で決定している場合でも、支給要件、納付要件の確認を行い、長期要件にも該当していないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 長期要件にも該当する者は年金見込額を算出し、不利な計算方法となっていないか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者に複数の厚生年金加入期間があり、合計月数が300月以上あるか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡者の生年月日が昭和21年4月2日以降であり、かつ、死亡者の平成27年9月以前の共済組合等の加入期間が300月未満であるか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 死亡日が共済組合等の加入期間中であるか確認する。</p>



機密性2完全性2可用性2(年金給付部)


<p><input type="checkbox"/> 死亡者が共済組合等で支給される障害共済年金（１・２級）又は障害年金（１・２級）の受給権者であるか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 受給者の意思通りの決定がされているか、相談事跡等を確認する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 死亡者が共済組合等で支給される障害共済年金（１・２級）又は障害年金（１・２級）の受給権者であるか確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 受給者の意思通りの決定がされているか、相談事跡等を確認する。</p>
<p> 【指示】 給付指 2025-86</p> <p> 【要領】 年金給付業務編「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」3.3.1（15）～（23）支給要件、短期要件の確認、長期要件の確認、短期・長期要件両方に該当した場合</p> <p> 【要領】 年金給付業務編「裁定事務（応用事例）」1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認</p>	<p> 【指示】 給付指-2016-63</p> <p> 【要領】 年金給付業務編「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」3.3.1（15）～（23）支給要件、短期要件の確認、長期要件の確認、短期・長期要件両方に該当した場合</p> <p> 【要領】 年金給付業務編「裁定事務（応用事例）」1.45 死亡者が複数の厚生年金記録を有する場合の支給要件の確認</p>

機密性2完全性2可用性2(年金給付部)

【制度説明(資料)新旧対照表】

制度説明(資料) > 年金給付 > 年金給付 > 遺族基礎年金・遺族厚生年金 > 受給資格要件

新バージョン	旧バージョン
5.1.1 被保険者要件	5.1.1 被保険者要件
～略～ (1) ～(2)	～略～ (1) ～(2)
～略～ (3) 遺族厚生年金の短期要件・長期要件	～略～ (3) 遺族厚生年金の短期要件・長期要件
<p>①短期要件は、被保険者期間が一般的に短い者、長期要件は、老齢厚生年金の受給資格期間（原則 25 年以上）を満たしている者が死亡した場合となり、年金額の計算に用いる被保険者期間の取扱いが異なります。</p> <p>長期要件は、死亡した者が昭和 21 年 4 月 1 日以前生まれの場合、その者の生年月日に応じた支給乗率に読み替える経過措置があります。</p> <p>短期要件の額を計算する場合、被保険者期間の月数が 300 月に満たないときは、300 月とみなして計算します。</p> <p>②短期要件・長期要件の両方に該当する場合、遺族が遺族厚生年金の請求時に別段の申出をした場合を除き、短期要件に該当し、長期要件には該当しないとみなされます（厚年法 58②）。</p> <p> [要領] 中央年金センター業務編「再裁定等業務の概要」4.1.5</p>	<p>①短期要件は、被保険者期間が一般的に短い者、長期要件は、老齢厚生年金の受給資格期間（原則 25 年以上）を満たしている者が死亡した場合となり、年金額の計算に用いる被保険者期間の取扱いが異なります。</p> <p>長期要件は、死亡した者が昭和 21 年 4 月 1 日以前生まれの場合、その者の生年月日に応じた支給乗率に読み替える経過措置があります。</p> <p>短期要件の額を計算する場合、被保険者期間の月数が 300 月に満たないときは、300 月とみなして計算します。</p> <p>②短期要件・長期要件の両方に該当する場合、遺族が遺族厚生年金の請求時に別段の申出をした場合を除き、短期要件に該当し、長期要件には該当しないとみなされます（厚年法 58②）。</p> <p> [要領] 中央年金センター業務編「再裁定等業務の概要」4.1.5</p>

<p>③死亡者が複数種別（第1号～第4号）の厚生年金被保険者期間を有し、合計が300月以上、かつ短期要件・長期要件の両方に該当し、遺族が請求書に「年金額が高い方の計算方法での決定を希望する。」を選択したときは、原則として「長期要件」で決定します。</p> <p>これは、それぞれの期間ごとに年金額を計算する（厚年法78の32②）ことにより、有利な再評価率（厚年法43①）を適用する趣旨から行われたものです。</p> <p> [指示]給付指 2025-86</p>	<p>③死亡者が複数種別（第1号～第4号）の厚生年金被保険者期間を有し、合計が300月以上、かつ短期要件・長期要件の両方に該当し、遺族が請求書に「年金額が高い方の計算方法での決定を希望する。」を選択したときは、原則として「長期要件」で決定します。</p> <p>これは、それぞれの期間ごとに年金額を計算する（厚年法78の32②）ことにより、有利な再評価率（厚年法43①）を適用する趣旨から行われたものです。</p>
--	---